

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

天栄村長 添田 勝幸

市町村名 (市町村コード)	天栄村 (7344)
地域名 (地域内農業集落名)	天栄村地区 (今坂、中屋敷、太多郎、飯豊、小川、高林、沖内、安養寺、丸山、西小屋、丹下、大里、沢邸、南房、深沢、桑名邸、南沢、西郷、中郷、児渡、上松本、下松本、湯本、下河内、野仲、田良尾、大槻、大平、更目木、黒沢)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月14日、令和7年1月15日 (第 1、2 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・現在、中心経営体の高齢化が進んでおり、後継者として新たな担い手の確保や育成が必要である。
- ・小規模農家が多く、農機具等の維持管理にコストが掛かり、経営を圧迫するため農機具等の更新が進まない。
- ・担い手が利用する農地の団地化が進んでおらず、作業の効率が悪い。
- ・担い手や労働力不足により、特別栽培や有機栽培の導入が進まない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・水稻を主要作物とし、気候に合せた新品種やスマート農業の導入を進め、作業の効率化と安定生産を目指す。
- ・担い手や労働力を確保するため、集落営農や法人化等の組織化を目指す。
- ・特別栽培や有機栽培への切り替えを進め、耕畜連携による地域資源循環型の農業を目指す。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	1,200 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	1,200 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

区域内の農用地のすべてを農業上の利用が行われる農用地等の区域とすることを目指し、利用が困難になった場合の保全・管理は今後検討していく。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員と農地相談員と調整し、農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び現地相談員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組方針
担い手のニーズに合わせ、活用できる事業があれば活用し、利用しやすい農地を確保する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
作業の効率化が期待できる防除作業は、JA等への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☒ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①鳥獣被害防止対策…地域で電気柵設置マップを作成し、対策済エリアと未対策エリアをすみ分けし、目撃箇所や被害発生場所をマップに反映することで捕獲体制の構築に取り組む。
- ②有機・減農薬・減肥料…有機栽培等、環境に配慮した取組みを進め、農作物の付加価値を高めることで農業所得の確保に繋げる。
- ③スマート農業…担い手の減少を見こし、省力技術・労働負担軽減技術として導入を進める。
- ④畑地化・輸出等…畑地化できる圃場については、畑地化を検討する。輸出等についても販路拡大として検討する。
- ⑤果樹等…販売単価の高い果樹や野菜などの園芸作物の導入・拡大・改植を推進する。既存品目については、生産安定につながる施設化や施設導入を検討する。
- ⑥燃料・資源作物等…遊休農地や需給調整に取り組む水田に燃料・資源作物等の導入を検討・推進する。
- ⑦保全・管理等…中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度及び環境保全型農業直接支払制度等に取り組む、農地の保全・管理に努める。
- ⑧農業用施設…担い手の営農や利用状況をなどを考慮し、農業施設等の計画的な更新や集約化を検討する。
- ⑨耕畜連携…稲わらの提供と家畜排せつ由来の堆肥を利用し、地域資源循環型農業を推進する。